

地震一口メモ No.160

2018年6月18日 大阪府北部の地震について④

～気象庁はこの地震に関するアンケートを実施します～

気象庁では、大きな揺れや被害を伴う地震が発生した際に、特に大きな震度を観測した地域にお住まいの皆様へ、当時の揺れの状況をお聞きするアンケート調査を実施しています。

調査結果は、震度と揺れや被害の関係についての基礎資料とするとともに、気象庁震度階級関連解説表 (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>、図1) の改訂のための重要な資料となります。

6月18日の大阪府北部の地震のアンケートは、震度5弱以上を観測した市町が対象となります。大阪府では、大阪市、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市、豊中市、吹田市、寝屋川市、摂津市、交野市、池田市、守口市、大東市、四條畷市、島本町、豊能町および能勢町です。



図1 気象庁震度階級関連解説表から作成したリーフレット「その震度どんなゆれ？」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

これまで気象庁がアンケート調査を実施した地震（6月18日の大阪府北部の地震を含む）は、
図2のとおりです。

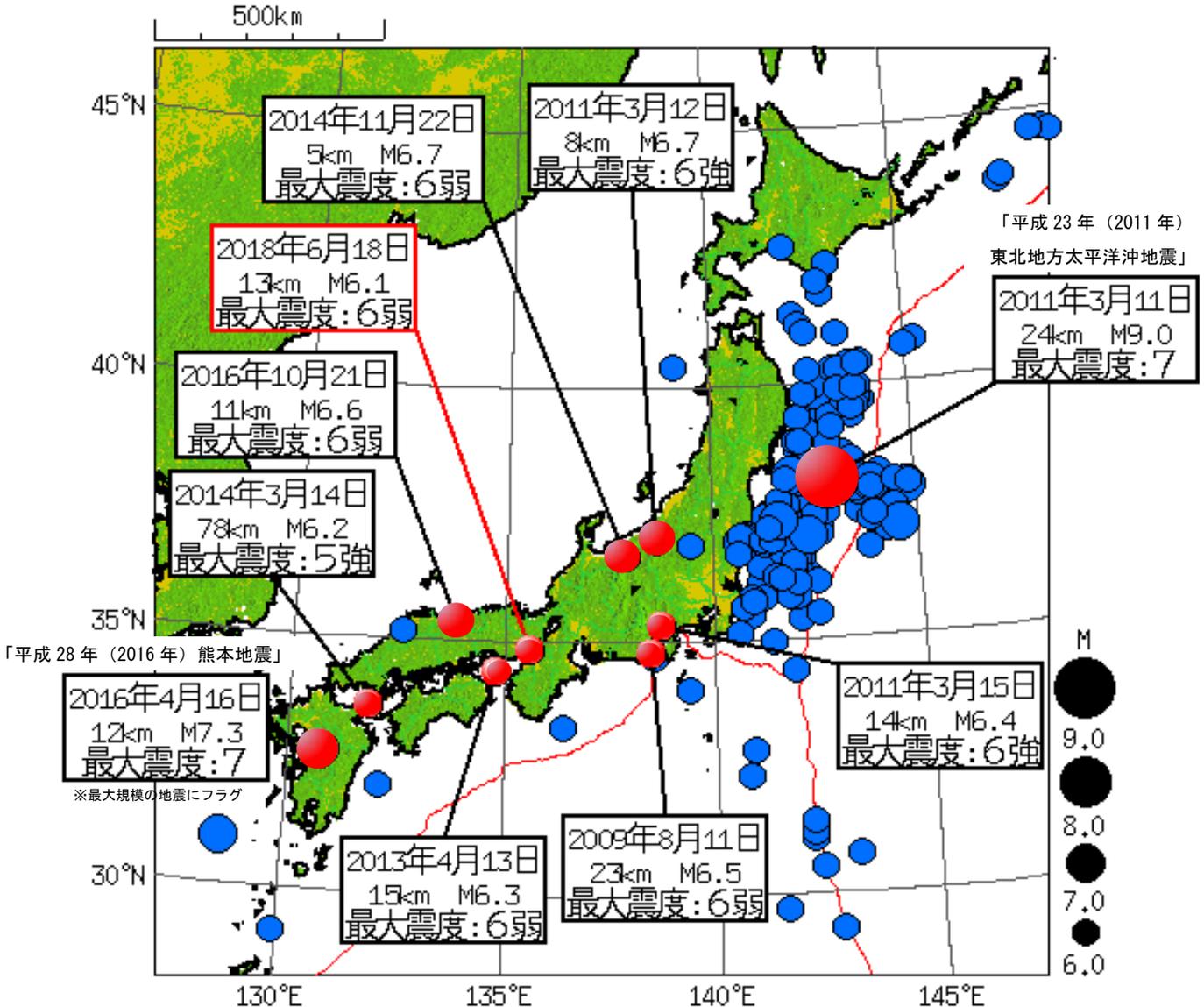


図2 震央分布図 アンケートを実施した地震を赤丸表示し、フラグを立てた

期間：2009年8月1日～2018年9月30日 深さ：0～80km、マグニチュード：6.0以上

現在、「平成28年（2016年）熊本地震」までの調査結果は、気象庁験震時報^{※1}や気象庁技術報告^{※2}にまとめており、概ね気象庁震度階級関連解説表の表現に沿った結果であったことがわかっています。

※1 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kenshin/kenshin.html>

気象庁験震時報は、全国気象官署の現職員及び、退職後、出向中の元職員が行った気象庁の地象業務に関する研究・調査、解説、その他、業務上必要な記事を掲載するものとし、原則として年1回刊行し、顕著なイベントが発生した場合には、臨時号を刊行しています。

※2 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>

気象庁技術報告は、気象業務上有用な調査・研究のうち、気象庁の他の刊行物や学会誌等に発表されない技術的な調査報告を掲載し、気象技術者の利用に供することを目的として刊行しているものです。